

新任医師 紹介

発行：社会福祉法人京都社会事業財団
京都からすま病院
広報委員会

2024年6月1日に着任いたしました、内科の池田 一毅です。

これまで京都大学医学部附属病院、赤穂市民病院、高松赤十字病院、再び京大病院、日本バプテスト病院、関西電力病院と病院所在地域、経営母体、病院規模も異なる様々な病院を経て、現在に至ります。

専門は消化器内科で、主に消化管、肝胆膵疾患の診療にあたってまいりました。今後はその経験も活かしつつ、一般内科的業務についても役割を果たしたいと考えています。

また、現在地域連携室長としての業務も学んでいます。

当院では、7月1日より地域包括医療病棟を運営するにあたり、

- ①高齢者救急の受け入れ
- ②高齢者患者のADLの低下を防止するリハビリ・栄養管理
- ③早期在宅復帰の支援

この3点をどうしても達成せねばならない課題としてあげています。

地域の多くの医療施設との安全、スムーズな連携を目標に考えていますが、何よりも患者さん、患者さんのご家族、地域の先生方、病院の方々に、京都からすま病院に来てよかった、当院を選んでよかったと言ってもらえるよう、微力ながら努めたいと考えています。

どうか今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

内科部長・地域連携室長

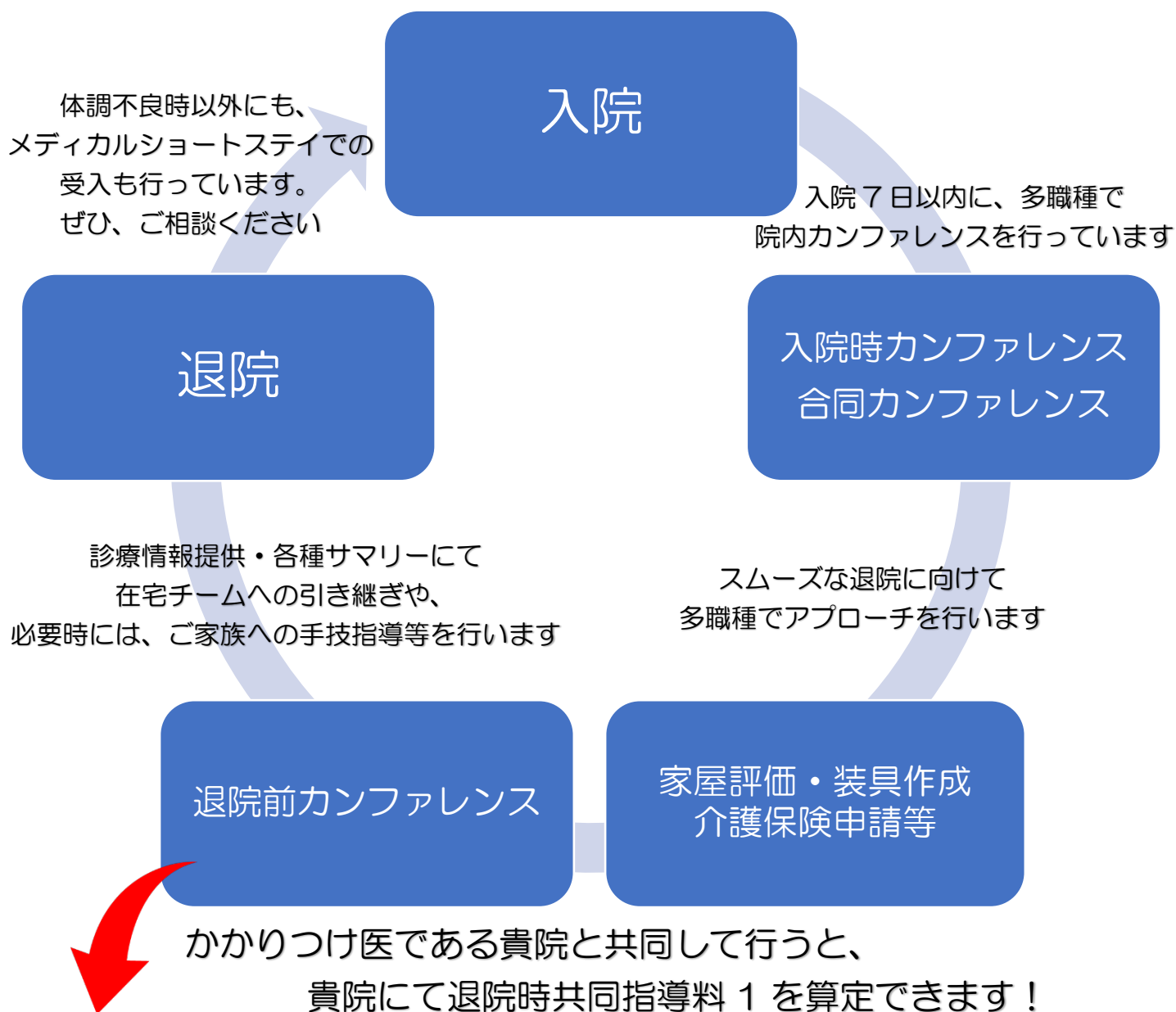
池田 一毅 医師

【専門医・その他】

- 日本内科学会認定医・臨床研修指導医
- 日本消化器病学会専門医・指導医・支部評議員
- 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・支部評議員
- 日本肝臓学会専門医・指導医
- 日本超音波医学会
- 門脈圧亢進症学会
- 厚生労働省 緩和ケア研修修了
- 京都大学 医学博士



退院までの流れ



項目名	点数	算定要件
退院時共同指導料 1	1 在宅療養支援 診療所の場合 1,500点	保険医療機関に入院中の患者について、地域において当該患者の退院後の在宅療養を担う保険医療機関の保険医又は当該保険医の指示を受けた看護師等、 薬剤師、管理栄養士、理学療法士等若しくは社会福祉士 が、患者の同意を得て、退院後の在宅での療養上必要な説明及び指導を、入院中の保険医療機関の保険医、看護師等、 薬剤師、管理栄養士、理学療法士等又は社会福祉士 と共同して行った上で、文書により情報提供した場合に、当該入院中 1 回に限り、地域において当該患者の退院後の在宅療養を担う保険医療機関において算定する。ただし、別に厚生労働大臣が定める疾病等の患者については、当該入院中 2 回に限り算定できる。
	2 1 以外の場合 900点	